



#### ■橋梁塩害対策と詳細点検

【北陸自動車道 上輪新田橋(上) 橋長344.55m(4径間連続PCTラーメン橋+5径間連続RC中空床板)】  
本橋が位置する柿崎IC～米山IC間は、海岸線近くに建設された道路で、日本海からの飛来塩分の影響を受ける区間です。そのため、塩害対策として橋梁全体にコンクリート表面保護塗装が施工されています。  
また、対策されているコンクリート部分を含めて、定期的に詳細点検を実施して橋梁全体の健全度を診断することで、お客様が安心・安全・快適にご利用いただける高速道路を守り続けています。

**2** **視点**  
地域の建設業とSDGs  
■西川工業(株) 代表取締役社長 西川 隆宏



副総裁(阿賀野川河川事務所長)による開会宣言▶P.3

**3** **トピックス**  
令和3年度阿賀野川・早出川総合水防演習  
■北陸地方整備局



地域の核の1つとなる駅北広場キターレ▶P.5

**5** **地域の動き**  
早期復旧復興を目指し「カタイ絆でよみがえる 笑顔の街道糸魚川」を合言葉に糸魚川市駅北地区都市景観大賞「都市空間部門 特別賞」を受賞  
■国土交通省北陸地方整備局 建政部 計画・建設産業課



朝日大橋を含む開通区間▶P.7

**7** **技術レポート**  
燕市街地の交通渋滞解消をめざして一般国道289号燕北バイパス道路整備事業(朝日大橋)  
■新潟県 三条地域振興局 地域整備部 道路課

**9** ICT砂防ほくりくの積極的な活用  
ICT技術活用による無人化施工の施工性向上  
■竹腰永井建設(株) 現場代理人 永井 俊朗



ブロック積上げ・調整のようす▶P.9

**13** 国道113号(新潟県関川村)18年目の供用性  
特殊改質アスファルトによるリフレクションクラック抑制工法(続報)  
■大成ロテック(株)



MAP工法を用いた舗設状況▶P.13

**17** シリーズ  
現場技術者の「知得」  
北陸地方整備局における令和3年度のi-Constructionの取り組み方針について  
■北陸地方整備局 企画部 技術管理課



リボンスクリュー型攪拌翼▶P.19

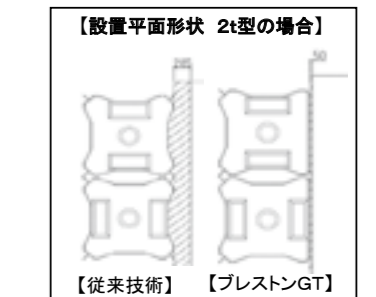
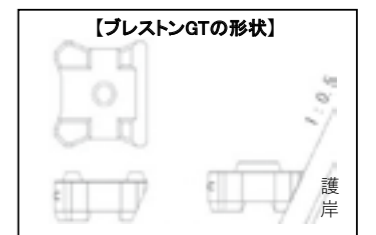
**19** **職場紹介**  
海と大地に未来を築く、TEAM AOMI  
あおみ建設(株) 北陸支店の紹介  
■あおみ建設(株)



新潟市土木部西部地域土木事務所 中野 双葉 さん▶P.22

**22** **先輩なう!**  
利用しやすいまちを目指して  
■新潟市土木部西部地域土木事務所 中野 双葉 さん

**24** **新技術情報**  
■Made in 新潟 新技術普及・活用制度  
・護岸勾配に適合した傾斜面を備えた端部根固めブロック  
【登録番号:2020D107】  
(株)種村建設



護岸勾配に適合した傾斜面を備えた端部根固めブロック▶P.24



#### 「i-Construction (アイ・コンストラクション)」とは?

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めています。

「i-Construction」は、「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

本誌では「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に関連する取り組みや建設現場などの記事を読者の皆様にご覧いただき、ご理解いただくために、当該記事に上記ロゴを表示しています。

※このロゴは平成30年6月1日に国土交通省が決定したロゴです。建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取り組みへと「深化」するシンボルとなっています。

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。  
E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp